

# 3社が取組方法を発表

ロジネット  
協組 燃費向上運動

【三重】ロジネット

協同組合（川北辰実理事長）は2日、鈴鹿地区輸送サービスセンターで実務者会議を行い15人が出席した。「燃費向上運動の発表会」というテーマで行われ

た同会議。組合員が半

年間行った燃費活動に

ついて岩瀬誠実行委員

長は「燃料の価格が

半年前に比べて20円上

がっており、活動を実

施した意義があった」と述べた。



中型部門と大型部門で燃費向上を達成した上位3社に対し、表彰状と金一封が贈られた。中型車1位はシャトルで燃費6・316（ワイドウイング4ト車）、大型車1位はマルタカで燃費5・366（バン8ト）。

また、活動の事例発表では、「『燃費向上運動』からグリーン経営までいってしまった成功の秘訣は？」と題して四日市運送の平田剛

氏、「初めての『燃費向上運動』はどこまで浸透したか？」と題してスカイキャニーの平尾和己氏、「限界に近い『燃費向上運動』のさらなるレベルアップへの秘策は？」と題してトーケントランスポートの堤上三氏が、それぞれ自社の取り組みを通して工夫した点、苦労した点などを発表した。

会議後には懇親会を行い実務者同士が交流を深めた。

（加藤 崇）